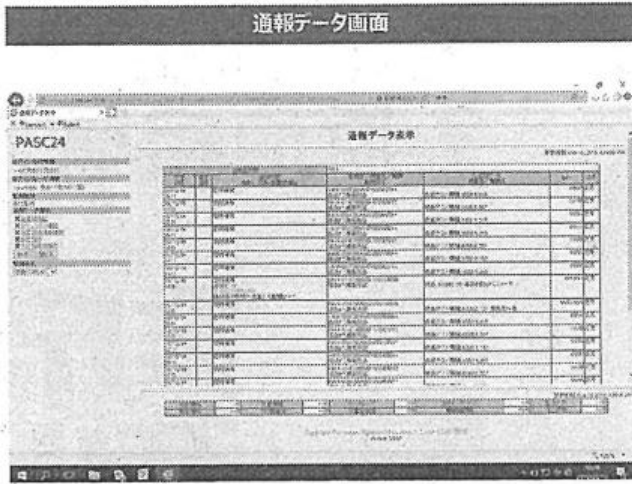


# 直売全件に設置完了

## Misumi パナソニックと提携

クラウド型  
集中監視

監視画面のサンプル



山田純文氏

Misumi(本社・鹿児島市、岡恒憲社長)は3月末までに、直売部門の顧客全件にパナソニックが提供する「クラウド型自動検針・集中監視サービス」の通信端末設置を完了する。パナソニックが提供する端末は、通信キャリアが提供するカテゴリのLPWA(省電力広域)無線端末で、同サービスでの端末全件設置は全国で初めて。今後は卸部門が担う系列販売店への普及を進めていく。鹿

児島、熊本、宮崎3県の直売顧客約4万5千件を対象に、2018年4月から店舗ごとに月間3千台ペースで導入を進めていた。

同サービスは初期投資不要、定額の月額料金だけでIoT端末導入、設置工事、回線利用、クラウドサーバー運用、システム保守まで10年契約でパナソニックが一括して行い、将来的な通信環境変化にも対応する。住所、設置写真、マップピンなど設置状況を正確に管理でき、システム保守のリソースも不要であることが特徴。顧客の既設ガスメーターにIoT端末を接続し、多

レポート(設置、進捗、号)の認定を取得した。開通結果)④未通信時の検針業務のIoT化で検針を自動化し、毎日検針により軒下在庫を正確に把握し配送効率をアップできる」と導入経緯を説明する。

今後については「労働力不足や働き方改革が叫ばれるなかで人材の有効活用は喫緊の課題。検針・配送業務の効率化で市場環境変化に対応したい。顧客維持や販売数量増に向け、ガス衣類乾燥機やファンヒーターを拡販すべく訪問機会を創出し、検針に割いていた時間を面談活動に振り向け、付加価値向上を図りたい」と展望。系列販売店への普及については「コストメリットなどを慎重に検証しながら導入を進めたい」としている。

山田純文・Misumi執行役員ガス小売事業部長は「他社システムと比較検討した結果、設置から維持管理まで一気通貫の踏み込んだ提案、特に保守面の安心感が最大の魅力だった。半年間の実証実験を経て導入を開始し、今年1月にゴールド保安認定事業者(第1